

幻の織物・倭文と王権

—宮中儀礼と白拍子・静御前伝承—

天上界から遣わされた二柱の武神は、地上の邪悪な神、草木、石の類のものをみな平定した。征伐できなかったのは、星の神だけだった。それで織物の神〈倭文（しづり）〉を派遣すると服従した。——『日本書紀』

神話の舞台は、ふたつの神社。常陸国・大甕神社は、新海誠監督『すずめの戸締まり』の「要石」に似た「宿魂石」に、織物の神＝倭文神タケハヅチが、星の神カガセヲを封じこめたと伝える。同監督『君の名は』のモデル、河内国交野の星田妙見宮は、嵯峨天皇の弘仁年間、空海の修法で天上より七曜の星（北斗七星）が三つに分かれて天降ったという。

「大和高田の白拍子舞—白拍子静御前と龍神の道、太陽の道」（『水門—言葉と歴史—』32、2025年3月、勉誠社）、昨年12月7日の第17回「東西文化の融合」国際シンポジウム「旅するカジの木、旅する神々—静御前と倭文」に引きつづき、倭文と〈王権〉〈宮中儀礼〉を軸に、北村皆雄監督の映画『旅するカジの木 倭文』を上映、鈴鹿千代乃氏が伝承する筑紫舞（傀儡子舞）を上演し、永年にわたって日立市で倭文織の復元と研究に取り組んできた先崎千尋氏をお迎えして、幻の織物〈倭文〉と白拍子・静御前伝承をめぐる〈王権〉と〈宮中儀礼〉から〈織物〉〈芸能〉の本質を考える。

しづやしづ しづのおだまき くりかへし 昔を今に なすよしもがな

——『吾妻鏡』・『義経記』

来聴歓迎、聴講無料。映画の上映は会場のみです。
映画の配信は行いませんので、ぜひご来場ください。

日時：2026年8月1日（土）

10:45-13:00 映画上映「旅するカジの木—倭文」

14:00-17:30 シンポジウム・筑紫舞（傀儡子舞）

「幻の織物・倭文と王権—宮中儀礼と白拍子・静御前伝承」

会場：大東文化大学板橋校舎3号館 1階3-0111

※午後の部のみ、Zoom併用でハイブリッド開催。

Zoom <https://zoom.us/j/94549232343>

ミーティング ID: 945 4923 2343 パスコード: 268050

◆午前の部

10:45-13:00 ■映画 北村皆雄監督作品「旅するカジの木—倭文」

◆午後の部

通訳・翻訳 大東文化大学大学院（非）尹仙花 オレグ・プリミアニ

14:00-14:10

□趣旨説明「倭文と王権—静御前伝承と宮中儀礼」

コーディネーター・司会 大東文化大学 蔵中しのぶ

14:10-14:50

□講演1. 倭文と王権儀礼—大嘗祭・琉球御新下り—

映画監督 映像民俗学・人類学 北村皆雄

14:50-15:50

□講演2. 倭文織の研究史をたどる—倭文織の復活のために—

農業・倭文研究家 先崎千尋

16:00-16:50

□講演3. 殯宮儀礼から大嘗祭へ—御衾、菅置のことなど—

■筑紫舞（傀儡子舞）

神戸女子大学（名）鈴鹿千代乃

神戸神事芸能研究会

17:00-17:30

□パネル・ディスカッション

司会・コメンテーター 大東文化大学 蔵中しのぶ

パネリスト 北村皆雄・先崎千尋・鈴鹿千代乃

※昼食は各自御持参のうえ、会場でお召し上がりください。正門前の横断歩道を渡るとコンビニがあります。

▶会場アクセス

※当日、大東文化会館から板橋校舎への学バスの運行はありません。下記の交通機関をご利用ください。

①都営三田線「西台」駅下車、徒歩15分。タクシー約900円。

②池袋から東武東上線「東武練馬」駅下車、踏切を渡り、AEONの下バス停・タクシー乗り場から徒歩25～30分。

タクシー約1000円（混雑が予想されますので、お早め）。国際興業バス「高島六の橋」から徒歩10分。

③池袋から東武東上線「成増」駅下車、「成増駅」北口ロータリーから、国際興業バス「大東文化大学前」下車。

④池袋からJR「赤羽」駅下車、「赤羽」駅西口バス乗り場から、国際興業バス「大東文化大学前」下車。

※本研究は、JSPS科研費（課題番号：26K0367）の助成を受けたものです。

お問い合わせ：水門の会事務局

minatonokai.info@gmail.com

科研費
KAKENHI

水門
MINATO-NO-KAI

